

## 京丹後市教育振興計画

### 施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

担当課	担当課長
学校教育課	小坂 貴寛
生涯学習課	引野 雅文

重点目標	7	たくましく健やかな体づくりと生涯スポーツを推進します
基本の方針	子どもたちのスポーツに親しむ習慣の確立や体力づくりに取り組み、たくましく健やかな身体を育みます。また、子どもから高齢者まで、だれもが豊かで充実した生活を送ることができるよう、市民が生涯にわたってスポーツに取り組むことのできる環境づくりを進めます。	

#### 1. 施策の方向性

#### PLAN

1. 健康な体づくり	<p>①子どもの基本的な生活習慣の確立のため、学校園が連携し、発達段階に応じた系統的な指導を行うとともに、その大切さについて家庭への啓発に努めます。</p> <p>②喫煙・薬物乱用などの防止、各種感染症や生活習慣病の予防等に関する指導、エイズを含む性に関する指導について、子どもの発達段階に応じた系統的な指導を行います。</p> <p>③食の知識や規則正しい生活習慣等を身につけさせるため、適切な給食指導を行うとともに、「丹後学」等を通して地場産物や郷土食に親しむ学習をするなど、家庭や地域と連携した食育の取り組みを進めます。</p> <p>④児童生徒の体力・運動能力の実態や課題を的確に把握・分析し、小中学校の一貫した体育指導を進めます。</p> <p>⑤学校園、家庭及び地域が連携して子どもの運動・スポーツ環境の充実を図るため、学校体育施設の開放や学校支援ボランティア等を活用したスポーツ指導を進めます。</p>
2. 地域スポーツ活動の推進	<p>①スポーツ推進委員をはじめ地区公民館、PTA等と連携し、各種ニュースポーツ教室等の実施や各種スポーツ行事等への協力等、スポーツの普及を図ります。</p> <p>②市民の多様なスポーツニーズに対応した活動を充実するため、体育協会等の活動支援及び組織強化を支援します。</p> <p>③市民の健康づくりとして、年齢や体力、目的に応じた日常的なスポーツ活動を促進するために、効果的なスポーツ情報と機会の提供を進めます。</p>
3. 競技力の向上	<p>①学校体育団体と連携し、子どもたちの競技スポーツへの関心を高めるとともに競技力の向上を図るため、小中学校の一貫した指導を進めます。</p> <p>②体育協会と連携し、京丹後市総合体育大会の参加者の拡大及び競技力の向上に向けて大会の実施方法等について検討を進めます。</p> <p>③市民の競技スポーツへの関心を高めるため、トップアスリートによる指導機会の拡充に努めるとともに、トップアスリートの競技を観戦する機会の提供に努めます。</p> <p>④青少年のスポーツ活動における指導者を育成するため、研修機会の充実を図るとともに、ジュニアアスリートの育成・支援の方法について検討します。</p>
4. 社会体育施設の整備充実	<p>①社会体育施設機能の維持・改善のため、老朽化が著しい社会体育施設の改修・修繕等を進めます。</p> <p>②社会体育施設の利用実態を把握して利用率の向上を図るとともに、利用率の向上が見込めない施設や老朽化した施設については、見直しや代替利用のあり方も含めて検討を進めます。</p>

#### 【参考】施策に関連するその他の計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第2次京丹後市総合計画	市の目指す基本理念、目標、将来像などを示した「基本構想」と、その構想を実現するための各種施策を総合的、計画的に体系化した「基本計画」	平成27年3月	平成27年度～令和6年度	
京丹後市スポーツ推進計画	年齢や性別、障害等を問わず、広く市民がその適正やライフステージに応じてスポーツに参画できるよう、中長期的な展望に立った「京丹後市スポーツ推進計画」を策定するもの	平成26年3月	平成26年度～平成29年度	第2次京丹後市スポーツ推進計画(平成30年度～令和9年度)
京丹後市学校教育改革構想	中学校卒業時に期待される学力を全ての生徒が確実に身に付けることができるようにしていくため、保育所・幼稚園、小学校、中学校の10年間を見据え、より系統的で一貫性のある教育を実践するための構想を策定	平成24年11月	計画期間の定めなし	

#### 2. 主な取組と構成事務事業一覧

#### PLAN

#### DO

※各事業の成果・課題については、別紙決算附属資料参照

#### CHECK

#### ACT

1. 健康な体づくり	決算額(単位:千円)			事務の改善
主な取り組み	H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性
↓ 事務事業名称・事業内容(実績)	担当課			
① 子どもの基本的な生活習慣の確立のため、学校園が連携し、発達段階に応じた系統的な指導を行うとともに、その大切さについて家庭への啓発に努めます。				評価を踏まえた今後の方向性
② 喫煙・薬物乱用などの防止、各種感染症や生活習慣病の予防等に関する指導、エイズを含む性に関する指導について、子どもの発達段階に応じた系統的な指導を行います。				
③ 食の知識や規則正しい生活習慣等を身につけさせるため、適切な給食指導を行うとともに、「丹後学」等を通して地場産物や郷土食に親しむ学習をするなど、家庭や地域と連携した食育の取り組みを進めます。				
④ 児童生徒の体力・運動能力の実態や課題を的確に把握・分析し、小中学校の一貫した体育指導を進めます。				
⑤ 学校園、家庭及び地域が連携して子どもの運動・スポーツ環境の充実を図るため、学校体育施設の開放や学校支援ボランティア等を活用したスポーツ指導を進めます。				

1. 健康な体づくり		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
1	小中一貫教育推進事業《再掲》 「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの育ちと指導の一貫性を目指したより良い教育の実現に向け、協議会及び専門部会で調査研究を行う。	学校教育課	-	-	-	現状維持
2. 地域スポーツ活動の推進		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
① スポーツ推進委員をはじめ地区公民館、PTA等と連携し、各種ニュースポーツ教室等の実施や各種スポーツ行事等への協力等、スポーツの普及を図ります。						
② 市民の多様なスポーツニーズに対応した活動を充実するため、体育協会等の活動支援及び組織強化を支援します。						
③ 市民の健康づくりとして、年齢や体力、目的に応じた日常的なスポーツ活動を促進するために、効果的なスポーツ情報と機会の提供を進めます。						
2	スポーツ推進委員活動事業 市民にスポーツに関する指導を行うスポーツ推進委員を委嘱し、住民の求めに応じた身近な場でのスポーツの機会を提供することにより、市民が気軽に親しめるスポーツ活動を推進し、本市のスポーツの振興を図る。	生涯学習課	3,374	4,245	3,667	現状維持
3	保健体育総務一般経費 社会体育事業を円滑に実施するための事務経費のほか、スポーツ基本法に基づき設置したスポーツ推進審議会を運営し、市民の意見を反映したスポーツ環境の整備及びスポーツ活動の推進を図る。	生涯学習課	300	444	253	現状維持
4	地域スポーツ推進事業 ライフステージに応じた各種スポーツ大会を実施することで、市民の生きがいの実感や健康づくりを促進するとともに、スポーツを通じた交流機会を確保しスポーツ人口の拡大を図る。	生涯学習課	6,163	5,987	6,312	現状維持
3. 競技力の向上		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
① 学校体育団体と連携し、子どもたちの競技スポーツへの関心を高めるとともに競技力の向上を図るため、小中学校の一貫した指導を進めます。						
② 体育協会と連携し、京丹後市総合体育大会の参加者の拡大及び競技力の向上に向けて大会の実施方法等について検討を進めます。						
③ 市民の競技スポーツへの関心を高めるため、トップアスリートによる指導機会の拡充に努めるとともに、トップアスリートの競技を観戦する機会の提供に努めます。						
④ 青少年のスポーツ活動における指導者を育成するため、研修機会の充実を図るとともに、ジュニアアスリートの育成・支援の方法について検討します。						
5	社会体育団体育成事業 スポーツ団体による主体的な活動を支援し、市民へのスポーツの普及と振興を図るとともに、スポーツによる青少年の健全育成と体力の向上を図る。	生涯学習課	20,140	19,364	19,811	現状維持
4. 社会体育施設の整備充実		決算額(単位:千円)			事務の改善	
主な取り組み		H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性	
↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課				
① 社会体育施設機能の維持・改善のため、老朽化が著しい社会体育施設の改修・修繕等を進めます。						
② 社会体育施設の利用実態を把握して利用率の向上を図るとともに、利用率の向上が見込めない施設や老朽化した施設については、見直しや代替利用のあり方も含めて検討を進めます。						
6	体育施設管理運営事業 市民の身近なスポーツ活動の拠点施設として体育施設を管理することにより、地域スポーツの振興とスポーツ競技力の向上を図る。	生涯学習課	48,633	58,283	52,508	改善・効率化
7	体育施設管理運営事業【繰越】 グラウンド内の部分的陥没が発生した豊栄山村広場グラウンドの原因調査を行い、復旧工事の方策の検討を進める。	生涯学習課	9,126	-	-	/
8	社会体育用学校開放施設管理運営事業 地域住民にとって身近で利用しやすい学校体育施設を開放及び維持管理することにより、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、もって生活文化の向上に資する。	生涯学習課	2,836	3,296	1,928	
9	竹野体育館改修事業【再編交付金活用事業】 社会体育施設として活用している竹野体育館について、耐震診断の結果、耐震等の改修を行う必要があると判断されたことにより、改修工事を行う。	生涯学習課	-	-	-	終了・廃止
10	保健体育施設災害復旧事業 豪雨及び台風等の自然災害により被災した保健体育施設の災害復旧を行う。	生涯学習課	697	-	-	終了・廃止
11	峰山途中ヶ丘公園陸上競技場リニューアル事業 峰山途中ヶ丘公園陸上競技場を、日本陸連公認第3種陸上競技場として整備することにより、第2次京丹後市スポーツ推進計画に掲げる「スポーツ・レクリエーション環境の整備・充実」を推進するとともに、スポーツを通じた交流人口の拡大、地域活性化を図る。	生涯学習課	12,940	192,969	410,174	終了・廃止
12	峰山途中ヶ丘公園陸上競技場リニューアル事業【繰越】 峰山途中ヶ丘公園陸上競技場を、日本陸連公認第3種陸上競技場として整備することにより、第2次京丹後市スポーツ推進計画に掲げる「スポーツ・レクリエーション環境の整備・充実」を推進するとともに、スポーツを通じた交流人口の拡大、地域活性化を図る。	生涯学習課	-	4,910	-	/
13	スポーツ施設整備基金 峰山途中ヶ丘公園陸上競技場のリニューアル事業の推進にあたり、京都府の補助金をスポーツ施設整備基金に積み立てるもの。	生涯学習課	560	9,152	25,574	

上記の「主な取り組み」への位置付けが困難な事業		決算額(単位:千円)			事務の改善	
事務事業名称・事業内容(実績)		担当課	H30決算額	R1決算額	R2予算額	評価を踏まえた今後の方向性
14	スポーツイベント推進事業 観光分野と連携し、各種スポーツイベントの開催を支援することで、スポーツを通じた本市の魅力を発信し、交流人口の増加を図る。	生涯学習課	11,669	10,160	7,672	現状維持
15	オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業 東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウン事業の実施により、スポーツツーリズムの推進、インバウンドの増加及びスポーツによる地域活性化を図る。	生涯学習課	6,694	5,462	22,432	縮小
16	オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業【繰越】 東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウン事業の実施により、スポーツツーリズムの推進、インバウンドの増加及びスポーツによる地域活性化を図る。	生涯学習課	-	15,229	-	
17	ワールドマスターズゲームズ関西推進事業 ワールドマスターズゲームズ2021関西(WMG)の取組を通じて、本市の滞在型スポーツ観光の推進、障害者スポーツの基盤づくり及び地域の活性化を図る。	生涯学習課	723	7,161	7,778	
18	東京2020オリンピック聖火リレー事業 東京2020オリンピック聖火リレーを実施することにより、大会の機運醸成、ホストタウン事業等の成功に資するとともに、スポーツ振興、地域活性化などスポーツによるまちづくりを推進する。	生涯学習課	-	955	4,155	現状維持
計			123,855	337,617	562,264	

### 3. 教育振興計画で掲げている主な目標指標

基本的方針	子どもたちのスポーツに親しむ習慣の確立や体力づくりに取り組み、たくましく健やかな身体を育みます。また、子どもから高齢者まで、だれもが豊かで充実した生活を送ることができるよう、市民が生涯にわたってスポーツに取り組むことのできる環境づくりを進めます。						
	目標指標	単位	計画作成時 年度	実績値(現状) 年度		目標値 年度	
主な目標指標	朝食を毎日食べる児童の割合<小学校>	%	97.8 「全国学力・学習状況調査」児童質問紙 H25	97.5	R1	100	R6
	朝食を毎日食べる生徒の割合<中学校>	%	91.1 「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙 H25	91.5	R1	95%以上	R6
	平日、午前7時より前に起きる児童の割合<小学校>	%	88.4 「全国学力・学習状況調査」児童質問紙 H25	87.9 (全国学力・学習状況調査の児童生徒質問項目から外れたため京都府学力テスト質問項目による)	R1	100	R6
	平日、午前7時より前に起きる生徒の割合<中学校>	%	77.2 「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙 H25	82.0 (全国学力・学習状況調査の児童生徒質問項目から外れたため京都府学力テスト質問項目による)	R1	85%以上	R6
	平日、午後11時より前に寝る児童の割合<小学校>	%	91.6 「全国学力・学習状況調査」児童質問紙 H25	97.2 全国学力・学習状況調査の児童生徒質問項目から外れたため京都府学力テスト質問項目による	R1	100	R6
	平日、午後11時より前に寝る生徒の割合<中学校>	%	45.0 「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙 H25	84.8 全国学力・学習状況調査の児童生徒質問項目から外れたため京都府学力テスト質問項目による	R1	50%以上	R6
	小学生(5年生)の体力テスト全国平均以上	種目	8種目中7種目 H25	8種目中5種目	R1	全種目	R6
	中学生(2年生)の体力テスト全国平均以上	種目	8種目中4種目 H25	8種目中4種目	R1	全種目	R6
	成人の週1回以上のスポーツ実施率	%	21.6 市民アンケート調査結果 H24	33.0	R1	65.0 (国の目標)	R6

目標指標	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
		年度	年度	年度	年度		
京都府民総合体育大会入賞競技数	競技	6 京都府民総合体育大会結果	H25	8	R1	10	R6
公共スポーツ施設の利用回数	回	11,253 公共施設利用状況調査結果	H24	10,543	R1	13,000	R6
スポーツイベント参加者数	人	-	R1	13,661	R1	18,600	R6

4. 施策の進捗状況の評価と今後の課題[基本的方針の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

**CHECK** **ACT**

進捗状況区分	評価	令和元年度成果と今後の課題
◎ 予定以上に進んでいる	○	<p>《朝食を毎日食べる児童生徒の割合》 朝食を毎日食べる児童生徒の割合は、小学生は増加し中学生はやや減少した。各校園における家庭向けの啓発及び児童生徒への丁寧な指導により確実に定着してきているが、今後も保護者との連携を更に密にし、児童生徒全員が朝食を毎日食べる取組を進めていく必要がある。</p> <p>《平日、午前7時より前に起きる児童生徒の割合》 平日午前7時より前に起きる児童生徒の割合は、小中学生ともに減少した。今後も継続して各校園で課題を共有し、具体的な家庭への啓発等により改善を図っていく必要がある。</p> <p>《平日、午後11時より前に寝る児童生徒の割合》 平日午後11時より前に寝る児童生徒の割合は、中学生はやや減少したが小学生は増加し、小中学生ともに高い水準である。今後も各校園で課題を共有し、具体的な家庭への啓発等により改善を図っていく必要がある。</p> <p>《小学生(5年生)の体力テスト全国平均以上》 小学校では、握力、上体起こし、長座体前屈が全国平均を下回ったが、前年度に比べて全国平均を上回る種目が増加した。引き続き、体育科を含む各校の教育活動全体を通じた体力づくりの取組等により、意識的に課題のある運動能力について克服していく必要がある。</p> <p>《中学生(2年生)の体力テスト全国平均以上》 中学校では、握力、長座体前屈などが全国平均を下回ったが、前年度に比べて全国平均を上回る種目が増加した。引き続き、体育科を含む各校の教育活動全体を通じた体力づくりの取組等により、意識的に課題のある運動能力について克服していく必要がある。</p> <p>《成人の週1回以上のスポーツ実施率》 日常の中にスポーツを取り入れ、健康増進と体力の向上を図るため、スポーツ推進委員会を中心に地域でのニュースポーツ教室等を開催するとともに、チャレンジデーイベントに初めて取り組み、気軽にスポーツに接する機会を提供した。 ニュースポーツ教室は、年間1,000人を超える参加者があるが参加者が固定化されており、仕事や家事、育児、介護等でスポーツをすることが難しい世代、また障害者、高齢者等に配慮した魅力ある行事の開催とスポーツ教室に関する情報の提供が課題である。</p> <p>《京都府民総合体育大会入賞競技数》 入賞競技数も増加、市町村対抗の総合順位は8位となり、前年の9位から順位を上げた。今後は、来年度の2020年東京オリンピック・パラリンピック、ワールドマスターズゲームズ2021関西を契機とし、競技力の向上を目指す。特に将来性を有するジュニアアスリートを養成する支援体制を整えることが重要である。</p> <p>《公共スポーツ施設の利用回数》 スポーツの推進を図るため、積極的に体育施設の開放を行い、利用者の拡大に努めました。近年、公共施設の利用者は減少傾向にあり、市内人口の減少によるものや市民のスポーツ種別が多様化したものと推測する。今後は、公共施設の見直し計画による施設の集約化や指定管理者制度の導入等、より市民のニーズに則した施設環境づくりと機会の提供が求められる。 R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けるため、目標を下方修正する。</p> <p>《スポーツイベント参加者数》 スポーツ観光のまちづくりを推進するため、各種スポーツイベントの開催、ジオパークの魅力を活用したウルトラマソン等を開催することで市内外の参加者が気軽にスポーツができる環境を提供した。今後は各種イベントについて、内外からの意見を聞き入れ、地域と一体となり地域資源等を取り入れ、工夫を行い、参加者が増える取り組みを行っていく必要があります。 R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けるため、目標を下方修正する。</p>
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
×		
大幅に遅れている		

5. 今後の施策展開の考え方(令和2年～令和4年度までの主な取組)

ACT

区分	No.	具体的内容
施策展開の考え方	1	子どもたちの基本的な生活習慣を確立させるため、学校園が連携し、発達段階に応じた指導を継続するとともに、丹後学を通じた学習や、地産地消・給食指導など、家庭、地域と連携した食育の取組みを更に推進する。
	2	市民のニーズに合ったスポーツの推進や、各地区の事業やPTA活動への協力を行うなど、多くの方がスポーツに親しめる機会を設ける。また、競技性の高いスポーツについては体育協会と連携し活動する機会を支援する。
	3	京丹后市体育協会の更なる組織強化等に向け法人化の検討を支援するとともに、引き続き財政支援を行うことにより、各種スポーツ大会の実施や府民総合体育大会への出場選手の拡大を図り、競技力の向上を目指す。
	4	市内には多くの社会体育施設が点在しているが、地域の大切なコミュニティの場としての役割も大きいと見直しを行う。
	5	交流人口の増加等、地域活性化を図るため、事業効果の高いスポーツイベントを推進するとともに、東京2020大会、WMG関西に向け、ホストタウンとしての取組、必要な施設整備を推進する。

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	4,245千円	4,540千円	295千円	(参考)当初予算額	93.5%					
	目	01 保健体育総務費					4,540千円					
	事	01 スポーツ推進委員活動事業										
	細事	01 スポーツ推進委員活動事業						課	生涯学習課			
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源								
目的		市民にスポーツに関する指導を行うスポーツ推進委員を委嘱し、住民の求めに応じた身近な場でのスポーツの機会を提供することにより、市民が気軽に親しめるスポーツ活動を推進し、本市のスポーツの振興を図る。										
主要な事務・事業の概要	○スポーツ推進委員報酬（市職員1人を除く51人分）		2,550千円	<活動内容> ・ノルディック・ウォーキング体験会：年間30回、456人参加 ・ニュースポーツ体験会(ビーチボールバレーほか)：年間91回、1,726人参加 ・地区活動やPTA行事、高齢者大学などにおけるスポーツ指導 (ノルディック・ウォーキング、ニュースポーツ、体カテストほか) ・スポーツ大会への協力(丹後100kmウルトラマラソン、丹後大学駅伝ほか)								
	○旅費（スポーツ推進委員活動費用弁償、職員旅費）		596千円									
	○需用費（消耗品費、燃料費）		790千円									
	・スポーツ推進委員シャーシ更新（52人分）、研修会テキスト代											
	○役務費（スポーツ安全保険料）		124千円									
	○委託料（バス運転委託料）		61千円									
	○使用料及び賃借料（有料道路通行料、駐車場使用料）		45千円									
	○負担金、補助及び交付金		79千円	成果・課題	○「ノルディック・ウォーキング」、「ニュースポーツ」の普及に努め、幅広い年代の方へスポーツへの参加機会を提供することができた。 ○今後は、スポーツへの参加機会の提供だけでなく、地域において、スポーツ指導をする場を設けられるよう、地区公民館等に働きかけ、連携を図る必要がある。							
・各種大会等参加負担金		8千円										
・丹後スポーツ推進委員連絡協議会負担金		47千円										
・近畿スポーツ推進委員研究協議会参加負担金		24千円										

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	444千円	670千円	226千円	(参考)当初予算額	66.2%					
	目	01 保健体育総務費					670千円					
	事	50 保健体育総務一般経費										
	細事	01 保健体育総務一般経費						課	生涯学習課			
基本計画		27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源								
目的		社会体育事業を円滑に実施するための事務経費のほか、スポーツ基本法に基づき設置したスポーツ推進審議会を運営し、市民の意見を反映したスポーツ環境の整備及びスポーツ活動の推進を図る。										
主要な事務・事業の概要	○報酬（スポーツ推進審議会委員）		72千円	「第2次京丹後市スポーツ推進計画」に基づき、市民の意見を反映したスポーツ環境の整備、スポーツ活動の推進を図ることができた。								
	・委員：12人、開催回数：2回（5月13日、12月23日）											
	○旅費		23千円									
	（スポーツ推進審議会委員費用弁償、先進地視察等旅費）											
	○需用費（消耗品）		4千円									
	○使用料及び賃借料（有料道路通行料）		6千円									
○備品購入費		339千円	成果・課題									
・カローリング購入（2セット）												

外審項目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	5,987千円	6,051千円	64千円	98.9%		
	目	02 保健体育事業費				(参考)当初予算額		
	事	01 スポーツのまちづくり推進事業				6,690千円	課	生涯学習課
	細事	01 地域スポーツ推進事業	主な財源					
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		目的					
目的	ライフステージに応じた各種スポーツ大会を実施することで、市民の生きがいの実感や健康づくりを促進するとともに、スポーツを通じた交流機会を確保しスポーツ人口の拡大を図る。		主な財源					
主要な事務・事業の概要	〇報償費		22千円	＜大会実施状況＞				
	・はしうど杯卓球選手権大会審判員謝金		18千円	大会名		開催日	参加者等	
	・入賞記念品（くみはまニューススポーツ交流大会、はしうど杯卓球大会）		4千円	カヌースプリント春季・秋季大会		5/18(土)、10/26(土)	75人	
	〇旅費（職員旅費）		2千円	京丹後チャレンジデー2019		5/29(水)	参加率48.1%、26,527人 秋田県湯沢市を相手に敗戦	
	〇需用費（消耗品費、燃料費、食糧費）		241千円	市長杯中学生野球大会		6/1、2（土・日）	6校、130人	
〇委託料		1,062千円	京都府民総合体育大会		8月～2月	15競技参加、入賞8競技		
・カヌースプリント春季・秋季大会運営委託料		926千円	京丹後市総合体育大会		9/1(日)	21種目、2,000人		
・市長杯中学生野球大会開催委託料		101千円	くみはまニューススポーツ交流大会		9/22(日)	49人(雨天のため屋外競技のみ)		
・弥栄町文化祭駅伝大会バス運転委託料		22千円	弥栄町文化祭駅伝大会		11/3(日・祝)	9チーム、127人		
・京都府民総合体育大会バス運転委託料		13千円	はしうど杯卓球選手権大会		12/1(日)	105人		
〇負担金、補助金及び交付金		4,660千円	成果・課題					
・京都府民総合体育大会派遣費補助金		1,206千円						
・京丹後市総合体育大会開催補助金		3,300千円						
・京丹後チャレンジデー実行委員会補助金		154千円						
市民が気軽に参加できるスポーツ事業の実施及びスポーツ大会への支援をすることにより、市民の健康・体力づくりやスポーツを通じた住民間・地域間の交流機会の提供、地域の活性化に寄与した。								

外審項目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	05 保健体育費	19,364千円	19,759千円	395千円	98.0%			
	目	01 保健体育総務費				(参考)当初予算額			
	事	03 社会体育団体育成事業				20,029千円	課	生涯学習課	
	細事	01 社会体育団体育成事業	繰入金 ふるさと応援基金繰入金		2,000千円				
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		目的						
目的	スポーツ団体による主体的な活動を支援し、市民へのスポーツの普及と振興を図るとともに、スポーツによる青少年の健全育成と体力の向上を図る。		主な財源						
主要な事務・事業の概要	本市の体育振興の中心的な組織である京丹後市体育協会に対し支援を行うとともに、京丹後市スポーツ少年団への支援を行った。		＜京丹後市スポーツ少年団 種目別団体数＞						
	〇京丹後市体育協会補助金		15,727千円	種目	団体数	種目	団体数	種目	団体数
	・加盟団体数：21団体（4,314人） ※令和2年3月末現在			野球	10	柔道	1	卓球	1
	・本部及び支部事業の実施			バレーボール	11	硬式テニス	2	複合	1
	スポーツ指導者研修会の開催（令和元年11月29日）			バスケットボール	5	ソフトテニス	2	カヌー	1
各町支部、各競技団体の活動支援（年間）			サッカー	7	バドミントン	3	レスリング	1	
大会協力（丹後100kmウルトラマラソン、丹後大学駅伝）			空手道	6	少林寺拳法	1	スキー	1	
・広報紙の発行（年3回）			陸上	7	新体操	1	合計	66	
〇京丹後市スポーツ少年団活動補助金		3,637千円	剣道	4	体操	1			
・加入団体数：66団体（児童生徒数：1,558人、指導者数：358人）			成果・課題						
・事業内容：指導者講習会、各スポーツ教室の支援									
※子どもスポーツ推進事業（補助金）は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止 予定日時：令和2年3月7日（土）17:00～19:00 内容：「メンタルトレーニングから学ぶアスリート育成及び子育て」講演会									
〇スポーツ団体の組織強化を支援することにより、スポーツ団体が実施する各種教室及び大会などを通して、幅広い年代層へスポーツに親しむ機会を提供することができた。 〇京丹後市体育協会の更なる組織強化、効果的な事業実施に向け、法人化等の検討を引き続き支援する必要がある。									

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	58,283千円	59,229千円	946千円	98.4%		
	目	03 体育施設費				(参考)当初予算額		
	事	01 体育施設管理運営事業				52,024千円	課	生涯学習課
細事	01 体育施設管理運営事業	主な財源	使用料 社会体育施設使用料	2,751千円				
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実	目的	市民の身近なスポーツ活動の拠点施設として体育施設を管理することにより、地域スポーツの振興とスポーツ競技力の向上を図る。	使用料 公有財産使用料	155千円			
主要な事務・事業の概要	目的	市民の身近なスポーツ活動の拠点施設として体育施設を管理することにより、地域スポーツの振興とスポーツ競技力の向上を図る。	主な財源	諸収入 自動販売機売上料	37千円			
	主な財源	諸収入 旧宇川中学校施設光熱水費利用負担金	366千円	諸収入 旧大宮第三小学校施設光熱水費利用負担金	178千円			
	主な財源	諸収入 市有建物損害共済金	27千円	諸収入				
	主な財源	諸収入		諸収入				
	主な財源	諸収入		諸収入				
	主な財源	諸収入		諸収入				
	主な財源	諸収入		諸収入				
	主な財源	諸収入		諸収入				
	主な財源	諸収入		諸収入				
	主な財源	諸収入		諸収入				

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	3,296千円	3,301千円	5千円	99.8%		
	目	03 体育施設費				(参考)当初予算額		
	事	02 社会体育用学校開放施設管理運営事業				1,299千円	課	生涯学習課
細事	01 社会体育用学校開放施設管理運営事業	主な財源	使用料 小学校施設使用料	1,046千円				
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実	目的	地域住民にとって身近で利用しやすい学校体育施設を開放及び維持管理することにより、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、もって生活文化の向上に資する。	使用料 中学校施設使用料	650千円			
主要な事務・事業の概要	目的	地域住民にとって身近で利用しやすい学校体育施設を開放及び維持管理することにより、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、もって生活文化の向上に資する。	主な財源	諸収入				
	主な財源	諸収入		諸収入				
	主な財源	諸収入		諸収入				
	主な財源	諸収入		諸収入				
	主な財源	諸収入		諸収入				
	主な財源	諸収入		諸収入				
	主な財源	諸収入		諸収入				
	主な財源	諸収入		諸収入				
	主な財源	諸収入		諸収入				
	主な財源	諸収入		諸収入				

予算科目	款	08 土木費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局									
	項	04 都市計画費				69.0%											
	目	03 公園費	192,969千円	279,410千円	86,441千円	(参考)当初予算額	課	生涯学習課									
	事	01 公園等指定管理運営事業															
	細事	02 峰山途中ヶ丘公園陸上競技場リニューアル事業															
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源		市債		都市公園整備事業債(過疎対策債) 190,400千円										
目的	峰山途中ヶ丘公園陸上競技場を、日本陸連公認第3種陸上競技場として整備することにより、第2次京丹後市スポーツ推進計画に掲げる「スポーツ・レクリエーション環境の整備・充実」を推進するとともに、スポーツを通じた交流人口の拡大、地域活性化を図る。																
主要な事務・事業の概要	○第3種公認陸上競技場改修整備 67,710千円		○その他経費 1,548千円														
	<ul style="list-style-type: none"> <li>陸上競技場改修工事(令和元年度前払金) 66,660千円</li> <li>陸上競技場改修工事現場技術業務(令和元年度出来高部分払) 576千円</li> <li>その他工事(水道メーター設置、分電盤増設) 473千円</li> <li>水道工事許可手数料 1千円</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>旅費(先進地視察等) 7千円</li> <li>需用費(消耗品費) 4千円</li> <li>有料道路通行料(先進地視察分) 4千円</li> <li>水道、下水道加入分担金 942千円</li> <li>し尿処理手数料、便槽高圧洗浄・消毒委託料 591千円</li> </ul>														
	○附属施設等改修整備 123,711千円																
	<ul style="list-style-type: none"> <li>附属施設等改修工事(建築、機械、電気) 118,273千円</li> <li>屋外トイレ新築工事、屋外倉庫新築工事、既存屋外トイレ改修工事、管理棟改修工事、公共下水道接続工事</li> <li>附属施設等改修工事監理業務委託料 3,080千円</li> <li>その他工事(管理棟機械警備装置改修、管理棟外壁等補修) 596千円</li> <li>工事設計業務委託料(フェンス設置工事、外周路補修工事) 1,265千円</li> <li>建築確認申請手数料(附属施設、競技備品格納用倉庫) 75千円</li> <li>図面作成業務委託料(競技備品格納用倉庫) 422千円</li> </ul>																
						<table border="1"> <tr> <td>参考</td> <td>遅次繰越費を除いた最終予算額</td> <td>193,046千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質的な予算執行率</td> <td>99.9%</td> </tr> </table>		参考	遅次繰越費を除いた最終予算額	193,046千円		実質的な予算執行率	99.9%				
参考	遅次繰越費を除いた最終予算額	193,046千円															
	実質的な予算執行率	99.9%															
						<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度への繰越事業 86,364千円</li> <li>陸上競技場改修工事(令和2年9月完了予定) 83,340千円</li> <li>陸上競技場改修工事現場技術業務(令和2年9月完了予定) 3,024千円</li> </ul>											
						<p>成果・課題</p> <p>○日本陸連公認第3種陸上競技場整備に着手し、令和2年9月末の完成に向け、工事を実施することができた。 ○屋外トイレ、屋外倉庫、管理棟の改修工事が完成し、快適な利用環境を整えることができた。 ○リニューアル完了後は、適切な管理運営を行うとともに、市民利用や大会誘致等、利用促進を積極的に推進する必要がある。</p>											

予算科目	款	08 土木費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局	
	項	04 都市計画費				50.8%			
	目	03 公園費	4,910千円	9,658千円	4,748千円	(参考)当初予算額	課	生涯学習課	
	事	01 公園等指定管理運営事業							
	細事	02 峰山途中ヶ丘公園陸上競技場リニューアル事業(繰越)							
基本計画	27 多様な学びを支援する社会教育の充実		主な財源		市債		都市公園整備事業債(過疎対策債) 4,800千円		
目的	峰山途中ヶ丘公園陸上競技場を、日本陸連公認第3種陸上競技場として整備することにより、第2次京丹後市スポーツ推進計画に掲げる「スポーツ・レクリエーション環境の整備・充実」を推進するとともに、スポーツを通じた交流人口の拡大、地域活性化を図る。								
主要な事務・事業の概要	○役務費 38千円								
	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築確認申請手数料(附属施設新築)</li> </ul>								
		○委託料 4,872千円							
		<ul style="list-style-type: none"> <li>陸上競技場改修整備工事資材特別単価調査業務 1,696千円</li> <li>附属施設新築工事基本設計及び実施設計業務 3,176千円</li> </ul>							
						<p>成果・課題</p> <p>陸上競技場改修設計に必要な資材単価調査及び附属施設新築工事の設計を行い、工事発注に向けた準備を進めた。</p>			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	9,152千円	9,153千円	1千円	99.9%		
	目	03 体育施設費				(参考)当初予算額		
	事	03 スポーツ施設整備基金				15,361千円		
細事	01 スポーツ施設整備基金	主な財源	府補	広域的スポーツ施設充実支援事業補助金(1/3)			9,152千円	
基本計画	29 効率的・効果的な行財政運営							
目的	峰山途中ヶ丘公園陸上競技場のリニューアル事業の推進にあたり、京都府の補助金をスポーツ施設整備基金に積み立てるもの。							
主要な事務・事業の概要	○スポーツ施設整備基金積立金		9,152千円					
	(参考)基金の状況		単位:(千円)					
	平成30年度末 現在高	令和元年度中増減額			令和元年度末 現在高			
	①	繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④	①-②+(③+④)			
	560	0	0	9,152	9,712			
					成果・課題			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	10,160千円	10,227千円	67千円	99.3%		
	目	02 保健体育事業費				(参考)当初予算額		
	事	01 スポーツのまちづくり推進事業				10,227千円		
細事	02 スポーツイベント推進事業	主な財源	府補	きょうと地域連携交付金(スポーツイベント推進事業)			4,700千円	
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進							
目的	観光分野と連携し、各種スポーツイベントの開催を支援することで、スポーツを通じた本市の魅力を発信し、交流人口の増加を図る。							
主要な事務・事業の概要	<大会の実施状況等>							
	大会名	開催日	会場	参加者等	大会関係予算(委託料・負担金・補助金)執行内容			
	NISSIN Rally 2019	5/18, 19(土・日)	京丹後市内ほか	51台、102人	-			
	京丹後市ドラゴンカー選手権大会	8/4(日)	久美浜湾	84チーム、1,008人	実行委員会への補助金	1,800千円		
	丹後半島ラリー-2019	8/24, 25(土・日)	京丹後市内ほか	75台、150人	-			
	丹後100kmウルトラマラソン	9/15(日)	京丹後市内	3,105人	実行委員会への補助金	2,678千円		
					バス運転委託料	822千円		
	あみの八丁浜ロードレース大会	10/20(日)	網野町八丁浜周辺	500人	市体育協会への補助金	1,050千円		
	丹後大学駅伝(関西学生対校駅伝競走大会)	11/16(土)	京丹後市内ほか	22チーム、440人	後援会への負担金	900千円		
	久美浜湾一周駅伝競走大会	11/23(土・祝)	久美浜湾周辺	64チーム、384人	大会運営委託料	1,442千円		
	合計			5,689人	8,692千円			
	○委託料(大会運営委託料等)	2,264千円						
	○負担金(丹後大学駅伝後援会への負担金)	900千円						
	○補助金(実行委員会への補助金等)	5,528千円						
	○久美浜湾カーレース競技場カーコース巻き取りドラム取付工事	715千円						
	○ライフジャケット購入(100着)	626千円						
	○その他経費(職員出張旅費、消耗品費、有料道路通行料)	127千円						
	成果・課題	○各種スポーツイベントの開催・支援により、出場者(全体で5,689人)のほか、応援者、関係者等含め約15,600人が参加し、地域における経済効果及び市の魅力発信につながった。 ○カーコース整備及びライフジャケットの購入を行い、カー大会の円滑かつ安心安全な運営に備えた。						

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局					
	項	05 保健体育費	5,462千円	170,914千円	165,452千円	3.1%							
	目	02 保健体育事業費				(参考)当初予算額	課	生涯学習課					
	事	02 国際ｽﾍﾞｯｸﾞﾊﾞﾘｯｸﾞﾝﾄﾞ推進事業				1,844千円							
	細事	01 ｽﾍﾞｯｸﾞﾊﾞﾘｯｸﾞﾝﾄﾞ推進事業				府補 市債			きょうと地域連携交付金(ｽﾍﾞｯｸﾞﾊﾞﾘｯｸﾞﾝﾄﾞ推進事業) 社会体育施設整備事業債(合併特別債)	100千円 4,300千円			
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進	主な財源											
目的	東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウン事業の実施により、スポーツツーリズムの推進、インバウンドの増加及びスポーツによる地域活性化を図る。												
主要な事務・事業の概要	〔(仮称)久美浜カヌーセンター整備〕		4,664千円	〔外国語セミナー開催事業〕		486千円							
	○旅費、需用費、使用料及び賃借料(有料道路通行料)		17千円	○委託料(外国語セミナー開催、宿泊施設外国人受入セミナー開催)									
	○役務費(建築確認審査手数料)		150千円	〔その他経費〕		47千円							
	○委託料(カヌーセンター改修工事実施設計業務)		4,497千円	○旅費(オリパラ関連意見交換会等)、有料道路通行料									
	〔ホストタウン推進事業〕		176千円	<table border="1"> <tr> <td>参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>5,962千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質的な予算執行率</td> <td>91.6%</td> </tr> </table>		参考	繰越明許費を除いた最終予算額	5,962千円		実質的な予算執行率	91.6%		
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	5,962千円											
	実質的な予算執行率	91.6%											
スペイン代表チームの視察受入れ(令和2年2月、代表コーチ1人)を行った。			<table border="1"> <tr> <td colspan="2">令和2年度への繰越事業</td> <td>164,952千円</td> </tr> </table>		令和2年度への繰越事業		164,952千円						
令和2年度への繰越事業		164,952千円											
○旅費、需用費(消耗品費)		99千円	〔(仮称)カヌーセンター整備事業 令和3年3月完了予定〕										
○委託料(交流事業)、使用料及び賃借料(宿泊施設使用料等)		77千円	・(仮称)久美浜カヌーセンター改修工事、監理業務委託等										
〔スポーツのバリアフリー講習会〕		89千円	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">成果・課題</td> <td colspan="2">○ホストタウン推進事業や、事前合宿地の誘致活動などを通して、スポーツを通じた交流を促進し、本市のスポーツ・観光情報を発信することができた。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">○スペイン及びポルトガルカヌーチームの当市でのオリンピック事前合宿が決定した。</td> </tr> </table>		成果・課題	○ホストタウン推進事業や、事前合宿地の誘致活動などを通して、スポーツを通じた交流を促進し、本市のスポーツ・観光情報を発信することができた。		○スペイン及びポルトガルカヌーチームの当市でのオリンピック事前合宿が決定した。					
成果・課題	○ホストタウン推進事業や、事前合宿地の誘致活動などを通して、スポーツを通じた交流を促進し、本市のスポーツ・観光情報を発信することができた。												
	○スペイン及びポルトガルカヌーチームの当市でのオリンピック事前合宿が決定した。												
○報償費(講師謝金)、需用費(食糧費)		62千円	○バリアフリー講習会では、障害者スポーツ、共生社会の実現についての理解を深めるとともに、市民がスポーツに親しむ環境づくりのための契機となった。										
○委託料(会場設営)		27千円	○継続的な事業の実施により、スポーツを通じたまちづくりを推進する必要がある。										
○概要日時: 令和2年2月8日(土) 13:30~15:00													
場所: アグリセンター大宮													
演題: 「パラスポーツの魅力と可能性-共生社会の実現に向け-」													
講師: 高橋 明 氏(大阪体育大学客員教授)													
参加者: 54人													

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費	15,229千円	30,280千円	15,051千円	50.2%		
	目	02 保健体育事業費				(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事	02 国際ｽﾍﾞｯｸﾞﾊﾞﾘｯｸﾞﾝﾄﾞ推進事業				30,280千円		
	細事	01 ｽﾍﾞｯｸﾞﾊﾞﾘｯｸﾞﾝﾄﾞ推進事業(繰越)				主な財源		
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進							
目的	東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウン事業の実施により、スポーツツーリズムの推進、インバウンドの増加及びスポーツによる地域活性化を図る。							
主要な事務・事業の概要	〔久美浜カヌー競技場1,000mコース整備〕		13,145千円					
	○委託料(1,000mコース設計・設営準備業務)		2,695千円					
	○備品購入費(1,000mコース用資材購入)		10,450千円					
	コースワイヤー、フイ、アンカーセット、距離表示フイ、スリット板等(9レーン分)							
	〔(仮称)久美浜カヌーセンター整備〕		2,084千円					
○委託料(カヌー艇庫整備基本設計業務)								
				成果・課題	オリンピック事前合宿やワールドマスターズゲームズ2021関西を控え、久美浜カヌー競技場の機能整備を推進した。			

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局				
	項	05 保健体育費						7,161千円	7,220千円	59千円	(参考)当初予算額	99.1%
	目	02 保健体育事業費										6,156千円
	事	02 国際ｽﾀｰｽﾞｲﾝﾀﾞｽﾄﾘｰ推進事業										課
細事	02 ワールドマスターズゲームズ関西推進事業	府補	きょうと地域連携交付金(ワールドマスターズゲームズ開催推進事業)	2,000千円								
基本計画		04 滞在型観光・スポーツ観光の促進	主な財源									
目的	ワールドマスターズゲームズ2021関西(WMG)の取組を通じて、本市の滞在型スポーツ観光の推進、障害者スポーツの基盤づくり及び地域の活性化を図る。											
主要な事務・事業の概要	<p>WMG大会競技運営に必要な備品を整備するとともに、プレ大会の開催、大会実施計画案の策定など、WMGの開催に向け、着実な準備を進めた。</p> <p>【久美浜湾カヌー競技場審判艇(カタマラン)設置】 4,096千円</p> <p>○備品購入費(カタマラン1艇、保管用備品) 4,026千円</p> <p>○消耗品費 70千円</p> <p>【WMG京丹后市実行委員会補助金】 2,507千円</p> <p>○WMG京丹后市実行委員会運営補助金 1,793千円</p> <p>京丹后市実施計画策定支援業務、臨時職員賃金、実行委員会委員旅費等</p> <p>OSUP全国大会(WMGプレ大会)開催補助金 714千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：7月21日(日)</li> <li>・参加者数：69人</li> <li>・会場：久美浜湾カヌー競技場</li> </ul>		<p>【WMG啓発事業】 119千円</p> <p>○印刷製本費、委託料(リーフレット20,800部作成) 100千円</p> <p>○普通旅費、有料道路通行料、駐車場使用料、関税(啓発イベントほか) 19千円</p> <p>【その他経費】 439千円</p> <p>○WMG京都府実行委員会負担金 200千円</p> <p>○旅費(組織委員会会議等)、有料道路通行料、駐車場使用料 239千円</p>									
	成果・課題			<p>OSUP全国大会(WMGプレ大会)の開催により、競技運営に必要な運営体制等について確認することができた。</p> <p>○WMGの取組を契機に、新たなカヌー全国大会(令和2年度より全日本カヌーマラソン選手権大会)を誘致することができた。</p> <p>○WMG大会の運営基盤体制の確立のため、本市実行委員会を設立し、大会実施計画案の策定を行った。</p> <p>○WMG大会開催を契機に継続的な大会誘致につなげ、スポーツを通じたまちづくりを進める必要がある。</p>								

予算科目	款	10 教育費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局				
	項	05 保健体育費						955千円	983千円	28千円	(参考)当初予算額	97.1%
	目	02 保健体育事業費										0千円
	事	02 国際ｽﾀｰｽﾞｲﾝﾀﾞｽﾄﾘｰ推進事業										課
細事	03 オリビック聖火リレー事業	府補	東京2020オリビック聖火リレー開催補助金(1/2)	423千円								
基本計画		04 滞在型観光・スポーツ観光の促進	主な財源									
目的	東京2020オリンピック聖火リレーを実施することにより、大会の機運醸成、ホストタウン事業等の成功に資するとともに、スポーツ振興、地域活性化などスポーツによるまちづくりを推進する。											
主要な事務・事業の概要	<p>本市内での実施が決定した東京2020オリンピック聖火リレーの適切かつ安全安心な実施に向け、警備・運営計画を策定するなど、必要な準備を進めた。</p> <p>○需用費(消耗品費) 108千円</p> <p>広報用のぼりポール300本等</p> <p>○委託料 847千円</p> <p>京丹后市警備・運営計画策定支援業務</p> <p>【京丹后市内での聖火リレー実施予定内容】</p> <p>コース：浅茂川漁港(スタート)～八丁浜小浜キャンプ場付近(ゴール)</p> <p>走行距離：約2.2km</p> <p>※令和2年5月26日(火)に開催予定だったが、東京2020オリンピック・パラリンピックの延期に伴い、聖火リレーも延期となった(開催時期未定)。</p>											
	成果・課題			<p>○警備・運営計画を策定するなど、聖火リレーの実施に向けた必要な準備を進めることができた。</p> <p>○今後、関係機関との情報共有と連絡調整に努め、新たに示される実施内容等に基づき、計画の見直しなど必要な準備を進める必要がある。</p>								